

縣市協調未来創造検討会議議 第1回新ホール部会議事概要

<開催要領>

- 1 日 時 令和2年11月12日(木) 13:30~15:15
- 2 場 所 徳島グランヴィリオホテル
- 3 出席委員 松重部会長、吉本副部会長
浅香委員、生駒委員、坂口委員、佐藤委員(代理:清水副理事長)
田村委員、花柳委員、檜委員、松永委員、三木委員、吉森委員

<会議次第>

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 部会長挨拶
 - (2) 県民アンケート「新ホール関係」の回答状況(途中経過)について
 - (3) 縣市協調新ホール整備方針(仮称)・骨子案について
・新ホール整備に係る規模、機能の検討
 - (4) その他
- 3 閉会

<配付資料>

資料 次第

資料 縣市協調未来創造検討会議「新ホール部会」委員出欠一覧

資料 配席図

資料1 県民アンケート「新ホール関係」の回答状況(途中経過)について

資料2 縣市協調新ホール整備方針(仮称)・骨子案

資料3 新ホール整備に係る規模、機能等検討項目

資料3-① (仮称)音楽・芸術ホール整備計画(要約版)

資料3-② 徳島市新ホール建設候補地選定についての意見書(要約版)

資料4 大ホールの規模イメージ図

資料4-① 他県ホール施設「フェニーチェ堺」について

参考資料 第1回縣市協調未来創造検討会議の概要

参考資料 位置図

参考資料 徳島県内の主なホール施設一覧

参考資料 各都道府県における最大規模の公立ホール施設一覧

<議事概要>

(事務局)

議事(2)、(3)について、資料1から4-①を説明

(部会長)

まずは大きな話からしてほしい。先ほど映像も含めてフェニーチェ堺。貿易の町でもあった堺が、これだけの大きな設備を作った。サイズ感とか参考になるということで紹介しました。

今までの経緯とか、最近は新聞記事にもいろいろ意見が出ております。そういったものも参考にさせていただいております。

私は徳島と京都と往復していますが、西宮に、兵庫県立芸術文化センターが出来ております。非常に稼働率が高くて、大ホール、中ホール、小ホールと備えており、駅に近く、距離感としてそんなに変わらないですね。皆さんの文化芸術の拠点となってお話を聞きました。そういうことを参考に、新ホールのあり方についてご意見いただいて、それから、徳島の伝統文化をさらに発展させる、ないしは特徴付けて、県民だけでなく、地域、近辺の方も新しく徳島に行こうと、そういうものの知恵出しで1時間近く取ってありますので、いろいろな面から意見をいただければと思います。

(A委員)

市のホールの時も委員をさせていただいたことがあり、市のホールは基本コンセプトが創造、交流、鑑賞だったと思います。今回、2000席の客席をどうするかという議論が入っているということは、創造というのは市民が使いやすいホールということだったと思うんですけど、今回は、お話があったように、国内外から公演を呼び込んで、徳島県民が観るというホールでいかれるんですね。鑑賞が一番あって、創造していく、そして、交流していく、そういうホールでやっていく理解でよろしいでしょうか。

県民が素晴らしいパフォーマンスを観られるとか、全国から興行的にいろいろ呼んで、成り立っていくものを考えて、席数もそれに合ったホールになってくるとは思いますが、そういう考え方でいくのでしょうか。

(部会長)

大きな前提の話。今までの所謂発表会であれば、2000席規模は大きすぎるという話ですよ。その辺は事務局の考え方もあると思いますが、ホールについては、小ホールのこともありますし、もう一つは、あわぎんホールは今800席ですかね。改修が必要だと思いますけど、それがあつた。大ホールについては、規模感が大きくて、全国から来られる、ここを拠点として全国から来ていただけるような、ということだと思います。いろいろな発表会、小ホールレベルであればそれも備える。大きな流れとしては大ホール、小ホールを作るという考え方だと思いますけど。事務局どうですか。

(事務局)

骨子案に書いた基本的事項にもありますが、鑑賞、創造、交流。ある意味欲張りかもしれないですけど、県都を代表する施設としていろいろな機能を持たせていく中で、アンケートでもあったように、どうしても県外に行って鑑賞を行うという意見も多い。県内でも、優れた芸術が鑑賞できる機会を作っていきたいと。

いろいろな機能を持ち込みながら、文化活動のところ、小ホール・リハーサル室、そして発表もしていただけるような、そういった施設にしていければと考えています。

(A 委員)

先ほど映像を見せていただいたように、兵庫県の西宮のホールの話も出ましたが、稼働率をよくしていくと考えるのであれば、主舞台だけではなく、後ろの奥舞台ですよね。それから袖、そういう舞台を設置したものでないと大きな興行はできない。そのスペースができるかということ。奥にスペースがある舞台は以前からあると思いますが、LEDとかプロジェクションマッピングをやろうとするならば、前映しじゃなくて、後ろから投影して映すとか。奥にスペースを作るのはなかなかないと思うんですけど、ぜひ特色のある舞台として、奥にスペースがあるともっと特色が出るのではないのでしょうか。

(部会長)

先ほどの堺のホールを落とし込んでいただいていますので、前の市のホール計画であれば、1200～1500席しかなかったと思いますけど、今回は、青少年センター敷地もあるので、大ホールは十分入ると。これからの舞台は、言われたように、映像関係が重要だと思いますし、そういったものが設備としてあれば、コロナの話もありますけど、ここを舞台に2000席じゃなくて、もっと大きな観客も望めるように、インターネット配信を映す設備があれば、外にも発信できると。もっと違った意味で大きな世界に発信できる工夫ができるかなと思います。

スペースとしては大ホールはできるんじゃないかと思います。それから、小ホールはどうするか、3階か4階（の高さ）ですので、この上では難しい。南側が少しあります。このあたりに1階、2階。バックヤードじゃないんですけど、トラックが入って、その上に小ホールやりハーサル室も含めて、会議室もセッティングができるんじゃないか。県も含めて、大ホール、中ホール、舞台のあり方、そういった要望があれば落とし込めるんじゃないかと思っています。

(事務局)

一点だけ。搬入口の話をつけ加えます。フェニーチェの搬入口は演じ手から評判がいいと聞いています。理由として、例えば、（以前の）市の計画では1台しか入れないが、2台確保して連続性をもって、交替しながらスムーズに搬入をしていける。また、上手の舞台が大きくなっており、奥も広い。入り口を2箇所設けて、2つあれば搬入上有効という、そういった意見を聞いておりますので、それらを参考にしながら搬入口を十分検討していきたいと思っています。

(B 委員)

2000席というのが大きすぎるという話だと思うんですけど。現実に徳島のいろいろな団体が使うには1000席前後が一番適している。けれど、年間にかかりの数でアーティストを呼ぶ、それから、全国大会、吹奏楽とか、合唱とかオーケストラとか全体ですけど、それが2000人の座席とリハーサル室、小ホールがないとなかなか成り立たない。

先ほど堺のホールのように何層かの席にすれば、普段は1000席で、1階だけで使ってしまう、それ以外は閉めてしまう。料金面でもこういう使い方をすれば、いろいろな使い方ができるのではないのでしょうか。

2000席そのものの稼働は難しいと思いますが、（2000席が）なかったらできないことがたくさんあります。それは必要ではないか。2000席を使うときはトラックが何台も来ることになります。だから、ホール前の道路とか、できれば鉄道のところを高架にして、市役所側から出入りできる車の流れ、大型とかバスが流れてくるようなことを考えてほしい。それがなかったら、全国大会で一旦トラックが入って、バックして出て、次のトラックが入って、非常に混雑して難しい状態になりますので、そういったことを考えてほしい。

それから、アンケートでも殆どの人が自家用車となっていますが、駅からホールまでバリア

フリーで行けるように考えてもらえれば、また違うんじゃないかなと。それと、徳島中央公園との一体化を考えて、東署が移った後、駐車場だけじゃなく、一体化して公園的な使い方も含めて考えていただければ。

徳島で、ピアノリサイタルとか個人的な発表会とかいろいろある。小ホールは必ず充実させてほしい。中途半端な小ホールではなく、きちんとした小ホールがほしい。たぶん、一番稼働するのが小ホールではないかと思いますので、中途半端なものにせず、小ホールとして舞台もしっかりと使える、音響的にも使えるホールにしてほしい。

いろいろと徳島市で検討してきたことをもとに、規模は大きくなった状態になっているので、徳島市の委員会の細かい検討も活かしてほしいと思います。アンケートであったように、多目的のホールになるのは仕方ないと思いますが、いろいろな技術が進歩していて、いろいろな使い方に対応できますと書いてあるんですけど、基本的に容積が小さいとホールとしては非常にまずいということで、2000人であればどれぐらいの容積が一番響くとか、どういうデータがあるとか、そういったことを検討してほしい。それと一緒に残響時間が出てくると思うので、どれに照準を合わせるかによって全然変わってくる。マイクを使った状態と生音では違ってくるので、その辺をうまく検討してほしい。あわぎんホールがある、アスティがある、そのうち鳴門もできる、その中で県のホールがどういうものが一番いいのか、考えていただければいいかと思います。よろしくお願いします。

(部会長)

多面的な意見をいただきました。大ホールの規模感は、普通は1000ちょっとぐらいが理想ですけど、県都として2000程度というお話。ある程度の容積を持ったものを。小ホールも対応してほしいと。前の市のホールの検討で。容積が限られた中での工夫、そういったことを今度の設計に考えてほしいということかと思います。

それから立地について、徳島城公園、お城の跡地に近いということで、櫓門があったんですかね。数日前の徳島新聞にも話がありましたが、徳島駅、もしくは近辺からの誘導もあってJRの関係とか、大きな話になりますが、そういったものを配慮してほしいという意見だと思います。ホールについては特性といいますか、オーケストラでいうと残響時間というか、ジャンルによって違うと思います。残響時間がある程度あった方がいいし、短い方がいいこともある。そのあたりを技術でカバーできるのか、うまく設計上で落とせるのか、技術的な観点でぜひ検討してほしいというご意見だと思います。

(C委員)

全国的にも2000席規模で賛成ですけど、日本舞踊の会としては、2000人の席は要らなくて、300や500は困る。1000席ぐらいは欲しいなと思います。

日本舞踊とか歌舞伎には必ずセリがいらいます。セリを忘れられて、鳴門市の文化会館にはセリが出来なかった。なぜ出来なかったかというと、地下にリハーサル室を作ったんです。セリは奥行きがいらいますから、奈落の底に。建設的なことが決まってしまうとセリが出来ない。それを考えていただきたいということと、昔の知識なんですけど、徳島は人形浄瑠璃が盛んで、農村舞台もあちらこちらで活躍しております。建設や場所の都合で出来ないこともありますけど、舞台の向きは南向きで。神事ですから、そういうこと。これは知っててできなかったのと、何も知らずに建てたのでは意味が違いますので、一つの知識として申し上げておきたいと思いません。そういうことはよくお調べになってください。

(部会長)

貴重なご意見です。今の図は反対向きになっているんですね。規模感が用途によっては10

00人程度、あまり大きな舞台でなくても、ということですよね。それからセリをぜひ、ということですね。いろいろな要望が出てくるとはと思いますが、できるだけ落とし込めれば落とし込む。こういうご意見、貴重な意見としていただければと思います。

セリだったら歌舞伎とかもありますし、先ほど言ったように花道であるとか、いろんな面で普通の三味線、長唄とか、阿波おどりであったりとか。それから、コンサートピッチにも成り得て、前舞台にもなりますので、これは工夫できるようなお話だと思います。

(C委員)

東西東西の口上が人形浄瑠璃にありますよね。東と西にお客さんがいらっしゃるという。舞台は南向きです。今の歌舞伎は知らないんですけど、いかがでしょうか。

(部会長)

歌舞伎の話も出ましたが、ここで歌舞伎は難しいと思います。そういう配慮があって、花道があって。最近ではスーパー歌舞伎ということで、初音ミクと歌舞伎がコラボしたものとか新しいものがある。徳島らしいということで工夫できればと思います。

(C委員)

コロナ時代に困っています。終息はすると思いますが、施設はゆとりのある部屋を作れたら役立つかなと。そう考えています。

(部会長)

1000人程度。極端に言えば、2000人の空間があれば出来るというのもあります。

(D委員)

いろいろ考えているんですが、ホールは2000人。コンサートホールだと大体1800人が理想なんですけど。そうでないと、営業として財政的に持たない。2000人のホールを作って、音響的なことを考えて、音楽とか演劇とかステージだけじゃなくて、全国でいろんな大会をやっていますので、全国大会を誘致することによって、観光にも資することが大きいですし、徳島みたいに観光する場所が近場にはない時には、いろいろな種類の全国大会を呼んで、観光して帰るスタイルにしないと観光客が増えないんじゃないかと。そのためには、2000人のホール。それ以上は困るんですが、2000人であれば、2000人でなければ呼べない種類があります。例えば、あるアーティストのコンサートは、2000人のホール前提で決めているわけです。なぜかというと、11トントラック5台でツアーに行くんです。2000人のホールでないと採算がとれない。そういう場合は、2000人の規模は要るんですが、クラシックのコンサートだと1800が精一杯で、それ以上だとお客さん入れるのが大変なんです。音楽とかステージ以外を誘致するのがホール維持に大事だと思います。いろんな全国大会を考えると2000人です。

小ホールは郷土文化会館がどうなるかが問題なんです。郷土文化会館を平行して議論してほしいんですが、同じ県でやっていけるのか、と考えます。皆さんも言われるように、800とか1500とかが使い勝手がいいということなんです。規模やスペースは郷土文化会館の今後の行方によって、800ぐらいがいいのか、あるいは500とか。あまり小さいと、有料の切符が売りようないんです。売り過ぎたら困るし、500ぐらいで使って、300ぐらいのお客さんが入ればできるんですね。

昔、動物園跡地の計画を市が出したときに、最初に市民の意見を聞いたんです。小ホールは200人、最後の委員会まで200人のままだった。それは市民の意見ですから。200は困

るんですよ、と言っても聞き入れられなかった。後から聞いたら、市民の意見で200席の希望があったからと言いました。そういう個人的な都合は困る、公共的なものです。アンケートを取る弊害なんです。

一番妥当とするところが500ぐらいで、300ぐらいのお客さんが来ることを想定する。入場券を売ったりする場合は500じゃないと売れないんですよ。売り過ぎたら困るということ。ある程度の空間があればいいと思う。それで、郷土文化会館の行方によって、潰すんなら一番需用が多いであろう800とか1000ホールができない。だから、大ホールはいいけど、小ホールのところは非常に検討を要すると思います。小ホールを2つ作ればいいですよ。それだけ余裕があるのであれば。市が計画したときには、文化センターで、日陰条例があって、4階建てまでしか出来ないと。そういう条例は自分のところで作ってるから、自分で建てるのに急いで条例を廃止するわけにいかない。動物園跡地も未だに市民、県民の意見が新聞で載りますね。あそこは一級住宅地なので、そういうものが建てられない話になった。それなら文化センター跡地しかないとなった。動物園跡地の計画は裏切られた形なんですよ。文化センターの跡地、日陰条例があって4階までしかできない。これで苦労したんですが、それが今でもあるんですかね。青少年センターは大丈夫なんです。いろいろなことがあって、どうして鷲の門が日陰になったらだめなのか。そんなことで立地に大きく影響してくるので、ちゃんと整理して知りたい。いざ設計の段階で、5階、4階までというと、向きの問題でおかしくなる。基本的なことは、全国から呼ぶなら2000人がいいんじゃないか。

香川県みたいに2001人のホールがあります。著作権というのはキャパによって使用料が違う。2001になったら値段が上がる。わざわざ2000人のホールを世間に知らせるために、2003とパンフレットに書いてある。たった3人のために著作権料がかなり高い。1000円ぐらいの入場券だといいますが、10000円の入場券だと主催者が大変なんです。だから、1999人にして公には2000人にしておけば、そういうことを考えて計画してほしいと思います。どこかでつまづかないようによろしくお願いします。

(部会長)

必要なお話をありがとうございます。いろいろな規制もありますし、著作権料金表がありますし、高さ制限というか景観条例とか高さの規制は、今までのホールもありますし、それほど厳しいものではないと思っています。調べていただいたら、動物園跡地もそういうことがあってできなかったというお話だったと思います。それから、芸術文化だけじゃなくて、全国大会、例えば学会関係で言いますとそれ位の規模がないと開けない。全国大会を開くということは、単にそれだけではなく、みなさん1泊、2泊されます。県の予算、市の予算というのは税金ですので、どう還元するかということも考えなければいけない。全国大会だと2000席程度は必要かと思っています。

阿波おどりばかりではないですけど、全国のダンスグループとかが徳島の晴れ舞台に、一番元祖になる場所に、大挙して徳島に来る。そのついでに県内の観光もあると経済効果が大きいと思います。そのような視点も加味して考えなければならぬ。今までの議論の中、市の方、県の方はある程度承知だと思うが、そういったものも含めて、これだったらというものを作っていたらいい。

(D委員)

全国大会で稼働率を上げることが大事。例えば、あるアーティストは2000しか動かない。いつも超満員。追っかけが海外からも来る。そういうのを含めて、ぜひ2000人のホールを作っていたらいいと思います。

(部会長)

有名アーティストにとっては小さいかもしれないけど、そこに映像があって、全国発信、世界配信にすれば興行としては大きい。そのためには有名アーティストの舞台は映像を使っています。新しい時代の映像を通した舞台ができれば、その規模が2000人に限らずもっと大きなものになるんじゃないかと思っています。そういう工夫はできるのではないかと。

(E委員)

以前、阿波踊りを文化センターで踊ったことがあるのですが、舞台裏が非常に狭かったので、上手下手とか、奥行きも狭かった。ただ、この立地条件で1番難しいのは、お客さんがどこから来るのかという、それが1番難しいと思うんです。やっぱり西側のJR線路です。これが壁になって、東からしかアプローチできない感じがありますので、設計の工夫の中で、例えばJRを高架に出来ないのであれば、その上に通路を作るとか、線路の上に人工地盤で広い路地ができるような、そこがまた西側から客待ちが出来るといいますか、開場前に切符を持ってどこで並ぶかというところも非常に大事かと思うんです。以前の選抜阿波おどりとか観てますと、道沿いにずらっと人が並んでいた。ああいうところはゆっくり並べる場所が要るか。それは線路の上かと感じまして。後は、今は特に防災面について謳ってないですよ。たぶん、津波が来る浸水区域なので、それに対してやっぱり1階と2階を、まあ2階をメインに使えるような津波に対しての工夫があるんじゃないかと感じました。後は特にないですけど、西側からのアプローチと、防災面で津波に対して考えてほしいところです。

(部会長)

実際に来場者がどのような形で来るかというシミュレーションですね、それは駐車場の場所もありますし、JRの徳島駅だったら今の状況ではちょっと難しいので、導入路というか、プロムナードというか、そういうものも考えてほしい。それから防災面、津波のこと。

コンサートホールだけではなくて、球技場とかそういったものは駅から少し離れていても、そのアプローチに郷土のお土産物さんがあるとか、街づくりというか、外から来た時も期待感を持って中に入っていく。楽しみが前段階でもできるような工夫、これは街づくりの1つかもしれませんが、そういったところも考えてほしい。ホールよりも大きな話になると思いますが、配慮してほしいというご意見と思います。

(F委員)

フェニーチェ堺に行かれた事務局に質問したいんですが、大ホールは2000人ですよ。2階席、3階席があり、その席を含めて2000人ですよ。で、そうすると1階は何人くらいですか。

(事務局)

1階部分で1076席、2階で340席、3階で296席、4階部分で276席です。

(F委員)

例えば、2000人のホールを使った場合に、1階の客席だけでいい場合はどうするんですか。それも2000人の料金を支払うんですか。

(事務局)

料金体系は確かに使用方法によって変えておりますし、また、客席の一番上から見下ろす席と、1階席では価値も変わりますので、4階席で観る人の料金体系もバランスを取って料金設

定をしていると聞いています。なので、場所によって変えるし、興行の仕方も工夫していると聞いております。

(F委員)

その2000席で1000席位しか使わないとしたら、やはり2000席の料金が必要だということですね。ホールを借りる場合、大体ホールは著作権も同じですけど、キャパシティによって計算されるんです。ですから、2000席ホールで1000席使ったとしても、2000席ホールの代金になるということでしょうか。

(事務局)

料金体系の表を見ての答えになるのですが、全席利用の場合と客席1階プラス2階とか、料金体系表では2区分に分かれております。

(F委員)

そうそれだと2000の中で、つまり下だけ1階だけを使った場合はそれだけでいける。そうすると、著作権の方もそれだけでいけるのですね。

(事務局)

それは確認させてください。

(F委員)

著作権料というのはキャパシティで決まるわけです。ですから、半端な1とか2とか、D委員がお話なさったと思うんですけど、これは使う方にとっては非常に重要な問題で2階、3階、4階のところは要りませんと、1階だけ貸してくださいというのは、文化センターの場合はなかったですから、他のところは大概2000だったら2000の料金です。ですから、それしか使えないのだったら、中ホールを作らないといけないのですが、今仰ったように、2階、3階、4階を使わなければ、つまり1000、800になるかも分かりませんが、その料金とするならば、それは中ホールの使用と同じになるということですね。そういうことを考えていただけたら、中ホールの代わりも出来るということだと思いますし、先ほど著作権のお話もありましたので、そのことが1階だけ使うことで料金が定められるということであれば結構かと思います。

(部会長)

使用料の話もあって重要なんですが、そういうことも含めて、キャパが大きいので実際はどうかというのもあります。これはさっきの話になるんですけど、県民の使用は若干安くするとか、いろいろ工夫はあると思います。出来るだけ若い人に来てほしいから、学生さん、小学生、中学生、そういう人であれば、2階、3階席を無料にするとか、実用面については稼働率を見ながら検討されるべきかということです。そういうことも是非考えて頂ければと思います。

(G委員)

ホールの在り方について、観客の動線、立体交差からの人の誘導、そうすると徳島城公園、あと徳島駅から公園を抜けてホールに向かうことが出来るかだと思いますので、これは夢なのですが、立体交差のところで鷺の門に繋げて、それを客席にして鷺の門が野外劇場になるとか、そういう違った視点でホールに入れるとか、ホールに関わることも若い人たちは楽しいかと。南や東には川があります。徳島は川が多いので、ひょうたん島クルーズを利用しながら、川か

ら入場してくるような動線が出来る。ホールとの間に建物がありますけど、取り込んで一緒に人が集まるものに。人が普段使えるものにしていくために取り入れながらやる。そういうことが文化センターから川までの敷地、加えて、後ろの公園敷地が繋がって、西のJR側とも繋がると膨らみが出るかと思います。あと、舞台を使う我々だけではなくて、舞台スタッフ側の動線であったり、使い勝手というものも話を聞きたいというのがあります。

(部会長)

駅からのアプローチ、川からのアプローチ、船で来るのもあるかということです。スタッフの方の動線も。ありがとうございます。

(H委員)

小ホールのことに関しては、阿波踊りだけでなく、阿波人形浄瑠璃というのも地元の伝統芸能ですので、先ほどの堺のホールで太夫座も出来る話もあったのですが、あれだと平面なので、太夫座が出来るような斜めの花道を付けていただくと、徳島が全国に誇れるものの1つとして捉えていただいているので、対応できる舞台にしていただけたらありがたいと思いました。もう1つ、車椅子の方がホールに行く時に濡れないように行けたらありがたいという話を検討会議で伝えてほしいと言われていています。エントランスから入る時に濡れずに車椅子で行くのは難しく、敷地のこともあるので難しい話かもしれないのですが、車で乗り入れて濡れずにホールに入れるようになる。大事なことの1つかと思います。

駅からのプロムナードの話もありましたが、濡れずに来れる工夫があったら、みんなが来やすい、車椅子の方も来やすい、全員が来やすい環境になるとと思いますので、外側の部分も考えて取り入れていただけるなら是非お願いしたい。先ほどと被るんですけど、鷲の門のところ、ああいうところを全国大会でも、時間の合間に自分たちだけで練習したいとか、そういう時に使わせてあげられるようにして、そうすると今ある通路ではちょっと寂しい、狭いですし、もうちょっと来やすい通路を通していただけて一体化する。ホール単体というよりも、徳島の楽しい場所、あそこに行ったら何か出来るというイメージのものにしていただけたら良いと思いました。

(部会長)

雨に濡れずにとというのは、それならJRで行こうとなれば車の数も減りますし、そこに工夫をして、それから障がい者の方に対してもそのような配慮を是非お願いしたいと思います。

(I委員)

D委員からお話もあったんですが、郷土文化会館が築50年ですよ。いずれ解体となれば、郷土文化会館にある機能もホールの中に含めることが大事かと思います。そうすると、いろいろな芸術分野が新しい建物に寄ってくる。これから50年、60年先を見据えた施設として整備する必要があるのではないかと思います。大事な要素を含めなければならないというふうに思います。これから少子高齢化とか、グローバル化、技術革新といったことも含めた上で考えていく必要があるのかと思います。賑わい創出の分野でも、かなり練る必要があるのかと思います。

(部会長)

1つは郷土文化会館との兼ね合い。和室とか会議室とかありますので、それら全てということにはならないのではないかと。耐震化もされています。ただ全体的な設備の老朽化はあるわけで、これは範囲を超えるかもしれませんが、郷土文化会館の在り方、内容の在り方、これ

も県の施設なので検討されることになるかと思えます。

(副部会長)

今日は事務局の方でいろいろな資料を作っていただいて、アンケートも多くが2000席のホールを望んでいる。それから今日の委員のご意見でも2000席がいいと。私も県都のホールとして是非2000席を、と申し上げたいところですけど、副部会長として、もうちょっと慎重に検討してもいいかと敢えて申し上げたいと思えます。といいますのは、今日出ている資料4ですね、これをみると2000席が入るとなっているわけですけど、2000席のホールだけでは、文化施設は機能しないので、小ホールを作る、或いは、堺のように大スタジオを作るといことで。やはり大きい部分だけ考えると、夜だけ賑わう、あるいは土日だけ賑わうことになって、ホール施設というのは平日の昼間どれだけ人が交流できるかがとても重要なんです。で、最初にA委員が仰った、市で検討している時は市民が使えるような、ということだったと思うのですが、やはり、その規模を読み込まないと、せっかく作る施設ですので、そこも併せて、果たしてこの敷地に2000席ホールを置いてしまうと、他の施設は入るのかどうかを慎重に検討する必要があると思えます。なおかつ、D委員が仰ったように、郷土文化会館がどうなるか分からないときに(小ホールは)300じゃ足りないと、じゃあ500作らないと駄目だとなれば、ますます2000が入らなくなると思うんです。だから、総合的な計画の中で、大ホール以外の小ホール、あるいは大スタジオ、他にも文化活動の稽古場のとか、或いはスタジオの方がニーズがあるとか、県民市民がここに集って素晴らしいものを観ることももちろんなんですけど、自分たちが文化活動できる場所も確保することも踏まえて、全体の施設計画の中で希望を持った方がいいと思えます。確か、市のホールは1500席で小ホールがあって、建設費が確か95億でしたかね。これが2000席になると当然もっと高くなるでしょうし、施設の建設費は1回なんとかすればいいわけですけど、運営は続くわけです。運営することを考えた時に指定管理者制度の場合は、県市が用意する指定管理料と、利用料金という施設を貸し出す料金、それと自主事業があって、チケット収入がある。そうすると、施設の稼働率はとても重要で、2000席を作って1000席に区切って使用する工夫も確かにありますが、一体どれだけ稼働するのが重要ですから、堺の施設を調べていただいているのであれば、例えば、2000席埋まっている利用が年何回あるのかとか、そのあたりのソフト面ですよ。運営のことを次回資料を出していただいて。2000席のホールが徳島にあってほしいと思うんですけど、一旦作ってしまうと10年、20年運営していかなければいけないので、それは将来の財政ということです。今、公共施設については、総合化計画をするとか、或いは公的ストックの適正化を図るといようなことが大きな国の方針で出ていまして、できるだけ身軽に、となっております。敢えて今日は意見を申し上げますけども、是非慎重に。今までの長い議論もあると思えますけど、県と市が協調でやることになりましたので、これで方針が出れば早く整備しましょうとなると思うので、そこは慎重に、整備面、運営面、事務局にはその辺も含めて次回までに資料を準備いただけたらと思えます。

(部会長)

重要な視点からご意見をいただきました。私も最初から言っているように、稼働率というか、建設した後の運営費がかかる。いかに稼働率を上げるか、皆さんが使いたい、そこに行きたいというようなソフト面を工夫していかないといけない。それが設備に反映されているということが重要だと思います。

今日は最初の部会でしたので、今回のものを整理していただいて、これから先の話も含めて、いろいろな要望が出てくるわけですから、こういうのがあった方がいいと。だけど、税金を使うわけですので、どうするのかという議論、そういった検討が必要だと思います。1番最初に私も

言ったんですけど、県民市民の人が支えるようなもの、欧米であれば、県民市民の寄付で美術館とかありますので、一緒になって財政面も含めて支援して頂くような、みんなが支えていきたいというものになってほしいと思う。公共で、県が作る、市が作るではなく、そういうソフト面での知恵出しを次回は伺えたらと思います。

いろいろなご意見をいただきましたので、事務局で整理し、次回に向けて。今日は詳しいデータが出ていないと思いますが、兵庫県立芸術文化センターは稼働率が非常に高い。予約ができないほど埋まっている。大・中・小のホールそれぞれにネーミングライツがある。そういった自立できるような工夫をやっていけたらと思います。